

地域カルテの内容と課題

(検証用資料)

検証テーマ

推進計画に掲げた重点項目「地域カルテの作成」について、平成 25 年度から取り組んできたところですが、①地域カルテのデータを有効に活用しきれていない ②地域カルテの情報が限られた人にしか届いていない ③データを実際の事業に活かすための分析力が足りていない という現状です。

以上の問題点を踏まえて、市では ①情報にアクセスしやすいよう内容の分類方法等を工夫する。②具体的な活用例を提案する。③地域カルテのデータを誰もが閲覧できるようにする。④地域、市職員ともにデータを分析し活用するノウハウを身に付ける ことが課題であると考えています。

この点について、委員の皆さまに検証いただき、改善すべき点についてご意見をいただきたい。

地域カルテ

1. 目的

地域の市内コミュニティ団体単位に、地域の課題や資源等を書き込んだ地域カルテを作成することにより、市と地域住民が地域の状況を共有し、今後のまちづくりに生かすことを目的として作成しています。

2. 内容

大まかには3つの視点から、人口・世帯などの客観的な統計データ、地域にある施設、地域活動の状況など、様々なデータを集約した。※詳細は検証用資料2参照

○ 人口・世帯の状況（住民基本台帳データより）

人口推移、町別人口推移、世帯数の推移 等

○ データでみる地域（住民基本台帳データ、国勢調査データ他）

就労人口と産業別就業人口構成

事業所数と産業別事業所構成

住宅種類別世帯数と持ち家率

高齢者世帯と高齢単身者世帯

医療機関数と医療機関一カ所あたりの人口

火災発生件数と主な出火原因

自治会加入世帯数と加入率

○ 地域の資源

医療、福祉、子育て支援、教育、防犯、防災、環境、公園、商業、コミュニティ 等

3. これまでの経緯

- ・ 平成25年度に策定した「川西市参画と協働のまちづくり推進計画」の基本施策1「情報共有の仕組みづくり」の中で、「地域カルテの作成」を重点取組項目に位置付け、地域カルテを作成した。
- ・ 平成26年度、平成27年度には、一部内容を更新し、その後に地域分権制度の適用をめざす地域に対し、地域別計画策定の参考資料として地域カルテを配付した。

※地域カルテ配付の際は、地域分権制度適用に向けた支援メニューについての説明会も行った。

4. 市が考える課題

①データの分類方法等の工夫

地域カルテに記載されている様々なデータから、地域の特性や強み、課題を考え、今後のまちづくり(地域活動)に活用することを目ざしているが、地域カルテを活用しきれていない現状が見られる。まちづくりに生かすためには、見る人がほしい情報をすぐに見つけられるよう、データの分類方法等の工夫が必要である。

②具体的な活用例の提案

地域カルテがうまく活用されていない理由として、地域の客観的なデータを見るだけでは、その具体的な活用法をイメージできないということが考えられる。地域の自主性を尊重しながら、地域カルテの活用例を提案するなど、具体的なイメージを描きやすいような支援が必要である。

③地域カルテの公開方法

現在、地域カルテは主に地域分権制度適用支援の一環として、コミュニティ組織に配付をしている。しかし、地域ごとの統計データ等はコミュニティ組織に限らず、今後の川西市のまちづくりを考えるうえで広い分野で活用できる見込みがある。誰でも地域カルテを閲覧できるように、HPでの公開を検討する必要がある。

④データの分析・活用ノウハウの習得

②具体的な活用例の提案でも触れたとおり、データから具体的な活用につなげるには、いくつかのデータの関係性を分析したり、経年変化を検討して、地域の課題を見つける必要がある。そのためには、データを分析し、活用するノウハウの習得が必要である。